

思います。

A 市長 来年から教育委員会、教育長が市長部局と緊密な関係を持ち、教育会議が行われていく中で考えます。読書通帳は、生涯記録に繋がっていくので、教育委員会と相談したいと思いま

個人質問



高橋 忠 議員

◆職員研修について

Q 職員研修の目的は何か。

A 市長 仕事を十分に行えるだけの資質を備えることです。また、積極的に一歩前に入る仕事ができるように、今までの公務員像から踏み出して視点を広げていくことが求められる時代に対応できる職員を育てることです。

Q 市職員研修要綱第6条の一般研修は、初級から部長研修まであ

るが、義務付けられた研修なのか。

A 総務部長 市民サービスを行う上で当然必要な研修と捉えており、原則、全職員が研修を受けます。他にも市町村アカデミー、千葉県自治研修センターによる研修に積極的に参加するよう、周知しています。

Q 今年度から実施されている研修ポイント制の目的は何か。

A 総務部長 目的は自発的な参加意欲を高めることです。

Q 勤務時間外の研修をポイント制の対象とし、人事評価に活用するののか。

A 総務部長 自己能力開発に対する姿勢として、参考資料として活用します。

Q 人事評価は勤務時間中の職員を評価するものと思う。時間外の研修には家庭の状況などで参加できない者もいる。人事評価の参考資料にするのは職員間の不公平感を招くのではないか。

A 市長 参加する職員の向上心は評価したいと思えます。ポイント制が不公平だととられない部分もあると考えますので、運用の面で十分気をつけて、一定の期間試行していきたいと思えます。

A 市長 参加する職員の向上心は評価したいと思えます。ポイント制が不公平だととられない部分もあると考えますので、運用の面で十分気をつけて、一定の期間試行していきたいと思えます。

Q 国民健康保険事業について

Q 国民健康保険事業の現状はどうか。

A 市民部長 平成25年度決算では、支出額の合計は78億円余りで黒字運営です。歳出決算は保険給付費、後期高齢者支援助金、介護納付金、共同事業拠出金で全体の97%です。歳入のうち被保険者負担の国保税が20億3千200万円で、全体の26パーセントです。

Q 柏市や市原市等はビックデータを利

A 市民部長 健康保持・増進のため、レセプト等を活用しながら地域の健康状況を把握し、優先課題を明確化し、健康づくりの普及、啓発や疾病予防、重症化予防へつなげる効果的な保健事業の実施と医療費の適正化を図られるよう、保健福祉部とともにデータヘルス計画の策定を進めています。

Q 市民に多いのは腎不全、高血圧性疾患(循環器系)、統合失調症(精神及び行動障害)、悪性新生物(いろいろながん)の順であり、また、60歳から74歳の疾患が多いということだが、疾病予測を研究し国保税の負担を極力抑えていくことが重要と思うがどうか。

A 保健福祉部長 レセプトデータの分析結果から読み取れる本市の健康課題から、しっかりと改善できるような施策

康相談の基礎資料とし、将来の医療費の抑制策として取り組む必要があると思うがどうか。

A 市民部長 健康保持・増進のため、レセプト等を活用しながら地域の健康状況を把握し、優先課題を明確化し、健康づくりの普及、啓発や疾病予防、重症化予防へつなげる効果的な保健事業の実施と医療費の適正化を図られるよう、保健福祉部とともにデータヘルス計画の策定を進めています。

Q ジェネリック医薬品の利用状況はどうか。

A 市民部長 薬を長期服用する方に対してジェネリック医薬品に切り替えた場合に、自己負担額がどのくらい軽減するかを知らせる医療差額通知を実施しており、今年度は4回実施予定です。平成26年9月は34%の利用となり上昇傾向にあります。

Q 高額療養費が国保事業に影響している

A 市民部長 国保事業に大きな影響は少ないと見ていますが、高額療養費を減少させるための保健指導をぜひお願いしたいがどうか。

Q 高額の財政運営を

A 市長 国民皆保険をしっかりと守っていく

ためにも、全力を尽くし予防活動にも力を入れ、事業が成り立つよう頑張っていきたいと思えます。



能勢 秋吉 議員

◆市の将来の財政について

Q 市の後期基本計画策定指針の中で、「長期的に安定した財源の確保と強固な行財政基盤を築かなければならない」との指針を示しているが、具体的にはどうしているか。

A 総務部長 合併による特例の財政運営をしてきたことに対する考え方を改めなければいけないということ、人口減少問題に係る収入減に対応するような予算編成、行政運営をしていかなければいけないということ

Q 自主財源である固定資産税は、将来的には現状維持が可能か。

A 市長 国民皆保険をしっかりと守っていく

